

林業安全コラム

みんなでつなぎ 高まる意識
達成しようゼロ災害

○ 7月1日から7月7日は全国安全週間です。

「みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害」のスローガンの下、労働災害の防止に向けた各種の取組が展開されます。

本週間に当たり次の事項の実施についてご協力をお願いします。

- 新規就業者等経験の浅い労働者に対する安全衛生教育の徹底
- 間伐作業での安全対策の徹底
- 安全な手順に基づく「かかり木」処理の徹底
- 林業現場の緊急連絡体制の確認
- 振動障害予防対策、蜂刺傷災害防止対策、熱中症予防対策、マダニ予防対策の実施
- 林業に関わる業界への車両系林業機械等に係る改正労働安全衛生規則の周知



○ 熱中症に十分な注意を！

熱中症の発生は7～8月がピークになります。昨年は熱中症による死亡者数が30人で、林業では伐採作業中に1人が死亡しています。

熱中症は、高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく動かないことにより、筋肉痛や大量の発汗、吐き気や倦怠感、意識障害などが起こります。熱中症の予防には「水分・塩分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

日陰の利用、こまめな休憩、通気性の良い吸湿・速乾の衣服の着用。また、保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却などの対策をお願いします。

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！



○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

【事例】

当日、被災者は同僚1人と間伐作業に従事。

14:35、被災者が呼ぶ声に同僚が気づき、被災者の元に向かうと負傷している被災者を確認。職場を通じて救急連絡、ヘリによる搬送が行われ、17:30病院に到着。病院到着時に被災者の意識は無く、18:37死亡を確認。(死因：右肩骨折多発性肋骨骨折による外傷性出血性ショック死)

<目撃者がいないため現場状況から推測>

被災者は、人工林内にあった枯れたマツを伐採したところ、かかり木となり、その処理のため、かかり木の元玉切りを行ったところ、マツの梢端に近い幹部(L:6.4m D:22)が折れて被災者の右肩等を直撃したものと推測。

【かかり木の処理作業中の災害が続いています。！ また、本年は既に20件(6月30日現在)の死亡災害の報告が該当県から寄せられており、極めて憂慮すべき事態となっています。！】



- ・ 国民安全の日 7月1日
- ・ 勤労青少年の日 7月19日

林業労働対策室
労働安全衛生班